

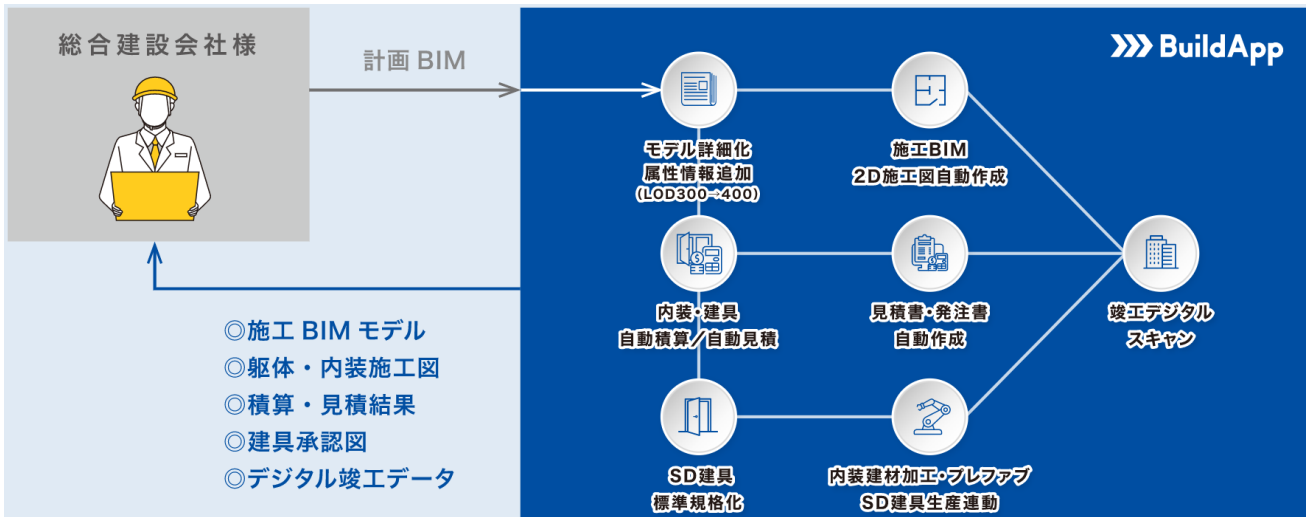
BIM 設計-生産-施工支援プラットフォーム BuildApp (ビルドアップ) 建設プロジェクトにおける内装・建具工事の「BIM 活用パートナー」とは

1. BuildApp ブース (小間番号 21-3) の見どころ

1. BuildApp 内装 (ゼネコン~工事店~メーカーを結ぶプロセスの変革)
AR での BIM-プレカット施工デモ、事例紹介
2. BuildApp 建具 (ゼネコン~メーカー~工場を結ぶプロセスの変革)
「建具施工図自動化」「建具 BIM 生産連動」のデモ、事例紹介
3. VR コーナーデモ
VR による最先端の施工管理体験、空間キャプチャー技術が特長の Matterport (マターポート) 体験
4. BIM エバンジェリスト 伊藤 久晴氏による BIM 特別講演 ※2022 年 12 月 7 日 11:00~11:30
なぜ日本の BIM はダメなのか?~BIM のレジェンドが示す日本の建設業の未来~

2. 建設プロジェクトにおける内装・建具工事と BuildApp

第2回建設DX展では、野原ホールディングスをはじめとする野原グループが得意とする「内装・建具工事」の BIM 化イメージ (クラウド環境で、関係者を BIM 起点のデータで繋いで連携を生み、工程の可視化や業務の自動化を促進) を体感いただけます。



■建設プロジェクトにおける、BuildApp 内装、BuildApp 建具の活用イメージ

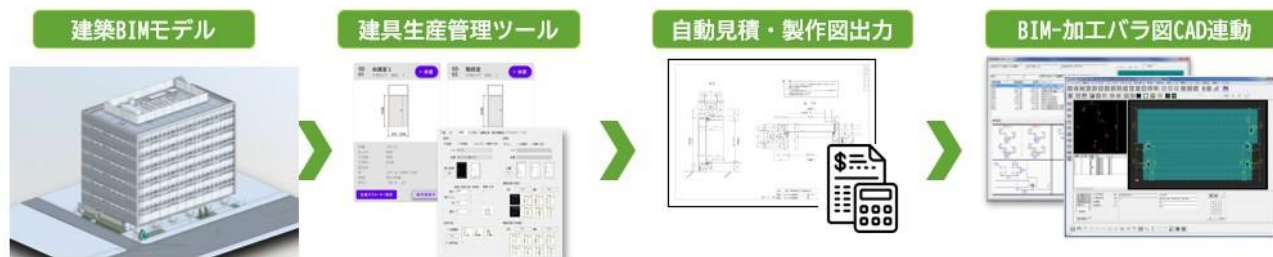
(1) 積算・プレカット「BuildApp 内装」



■BuildApp 内装のサービスイメージ

内装施工 BIM から、次工程以降に必要なレベルに BIM モデルを詳細化、建材の積算を自動化してプレカット、施工管理へ BIM 積算・プレカット「BuildApp 内装」は、施工現場での生産性向上・廃材料削減を目的とし、BIM データを情報基盤として、内装材の積算・見積・発注・プレカット・施工管理までを支援します。

(2) 建具 BIM-工場生産連動「BuildApp 建具」



■BuildApp 建具のサービスイメージ
 スチールドアの作図承認業務を自動化し、スチールドアの製作工場での製造自動連携へ

建具 BIM-工場生産連動「BuildApp 建具」は、スチールドアなどの鋼製建具の設計・製造・販売・施工を BIM モデルデータから一貫して行います。

BIM とスチールドア製造 CAD とのデータ連携により、製造工場での「バラ図」作成作業の完全自動化を実現します。

3. BIM エバンジェリスト 伊藤 久晴氏による BIM 特別講演

※予告なしに講演内容が変更となる場合もあります

(1) 講演予定内容

講演テーマ	なぜ日本の BIM はダメなのか？～BIM のレジェンドが示す日本の建設業の未来～ (1) 日本の BIM の現状 (2) 日本の BIM の課題 ・ BIM の定義が間違っている ・ 共通の情報基盤がない ・ プロセスを変えようとするしない (3) あるべき日本の BIM のカタチ (4) 野原ホールディングスの BIM の取組み「BuildApp」 (5) 日本の建設業の未来	
聴講をお薦めしたい方	BIM 導入を予定している、または導入しているがなかなか成果が上がらないと考えている建設会社の方	
講演者	伊藤 久晴氏	
開催日時	2022 年 12 月 7 日 (水) 11:00-11:30	
開催場所	東京ビッグサイト 西展示棟 (〒135-0063 東京都江東区有明 3-11-1) 野原ホールディングス BIM 設計-生産-施工支援プラットフォーム「BuildApp」ブース 【ブース番号】21-3 【アクセス】りんかい線「国際展示場駅」/ゆりかもめ「東京ビッグサイト駅」	
聴講方法	第2回建設DX展に事前登録のうえ、開催日時に、野原ホールディングス BIM 設計-生産-施工支援プラットフォーム「BuildApp」ブース (ブース番号: 21-3) にお越しください。 ※事前予約なし、来場先着順、スペースの関係上座席の用意はありません。 ※弊社ブースに限定した、 <u>展示会 e 招待券 (弊社出展情報と無料招待券のセット)</u> をご活用いただけます。	
その他	第2回建設DX展の詳細は、公式サイトをご確認願います。 https://www.japan-build.jp/tokyo/ja-jp.html	
問合せ先	【一般のお客さま】 野原ホールディングス株式会社 建設DX推進統括部 e-mail: info@build-app.jp	【報道関係者】 野原ホールディングス株式会社 マーケティング部 (担当: 齋藤、森田) TEL: 03-6328-1576

(2) 伊藤久晴氏のご紹介

伊藤 久晴／Hisaharu Ito

株式会社BIMプロセスイノベーション 代表、BIM エバンジェリスト。

1959年広島県生まれ。1982年大分大学建設工学科卒業。

2021年3月に退職した大和ハウス工業では、2006年頃からBIMに取り組み、建築部門のBIMの構築に携わる。在職期間には、Revit User Group 初代会長を務め、2021年2月には日本初となるISO 19650の認証を取得した。

2021年4月に、株式会社BIMプロセスイノベーションを設立。

BIMによるプロセス改革を目指して、BIMのコンサル業務やプロセス改革アドバイスを実施している。

応用技術など複数の企業のBIMコンサルをしているが、2021年7月から、野原ホールディングスにもコンサルを始める。

2021年5月からBSIの認定講師として、ISO 19650の教育や認証のサポートなども行っている。

野原ホールディングスに対しては、建設業界の生産性向上と廃材削減（CO2削減）を支援するBIM設計-生産-施工支援プラットフォーム「BuildApp（ビルドアップ）」などのビジネスモデルを面白いと感じており、アドバイスなどを行っている。

【主な著書等】

2014年、Autodesk Revit 公式トレーニングガイド出版（日経BP）

2021年、Autodesk Revit 公式トレーニングガイド第2版出版（共著／日経BP）

2021年6月～、ITメディアBUILTにて「日本列島BIM改革論～建設業界の「危機構造」脱却へのシナリオ～」を執筆中

4. 野原ホールディングス 出展ブース

別紙2をご参照ください。



以上